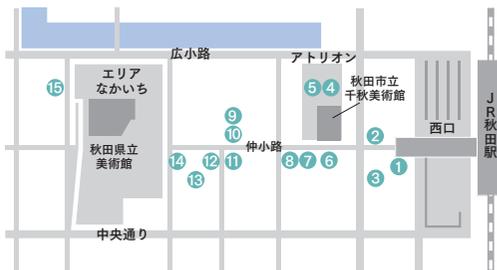


## 仲小路商店街

### お得な半券サービス

秋田県立美術館と千秋美術館をつなぐ仲小路商店街。どちらかの美術館で展覧会を鑑賞し、半券(両館のパスポートも可)を対象店舗で提示すると、各種サービスを受けられます。「アートな街」をお得にお楽しみください。



店舗名	サービス内容
1 プリモカワカミ (フォンテAKITA1階)	フォンテポイント2倍
2 無限堂 秋田駅前店	お食事の方にワンドリンクサービス
3 カフェラ ドゥ café La Doux (クロッセ秋田2階)	食事後のワンドリンクサービス
4 秋田県産品プラザ	5%割引(一部対象外)
5 札幌かに本家 秋田店	お食事の方5%割引 (現金のお支払で)

店舗名	サービス内容
6 ブラランジーノ アキタ Branzi-no Akita	お食事の方にデザートサービス
7 そば処 四季	飲食代5%割引
8 レモンの部屋	5%割引(一部対象外)
9 ティールーム陶	100円引き(平日ランチは除く)
10 食器のさかいだ	5%割引(一部対象外)
11 Kコレクション&レガロ	ポイント2倍サービス
12 仲小路 コーヒー&ワイン	1,000円以上の飲食で5%割引
13 親鶏らぁ麺 いし川	トッピング1品サービス
14 川口呉服	5%割引(サービス品除く)
15 ダイニングレストラン ザ・キャッスル (秋田キャッスルホテル1階)	ご利用金額の5%割引

### 秋田市立千秋美術館

開館時間 ●午前10時～午後6時  
(入館は午後5時30分まで)

観覧料 ●常設展 一般310円  
大学生210円  
高校生以下無料

休館日 ●4月1日(水)～16日(木)、  
7月13日(月)～31日(金)

〒010-0001 秋田市中通二丁目3-8(アトリオン内)  
TEL.018-836-7860 FAX.018-836-7862



### 秋田県立美術館

開館時間 ●午前10時～午後6時  
(入館は午後5時30分まで)

観覧料 ●展覧会ごとに異なる

休館日 ●4月6日(月)～10日(金)、  
6月15日(月)～19日(金)、  
7月31日(金)～8月3日(月)

〒010-0001 秋田市中通一丁目4-2(エリアなかいち内)  
TEL.018-853-8686 FAX.018-836-0877



編集 ●秋田市artlineプロジェクト実行委員会  
秋田市立千秋美術館  
秋田県立美術館指定管理者(公財)平野政吉美術財団  
仲小路振興会

発行 ●2026年3月  
表紙: © tupera tupera



ふんばりいん おかりいん

# tupera tuperaの キニナル アニマル

絵本原画展  
Curious Animals of tupera tupera:  
Picture Book Illustrations

News from the Museums of Art  
artline vol.42

笠間日動美術館コレクション

# 特別展 近代西洋絵画の巨匠たち

【会 期】 2026年4月11日(土) - 6月14日(日) 会期中無休

【会 場】 秋田県立美術館 3Fギャラリー

【観 覧 料】 一般1,300(1,000)円、大学生1,000(700)円、60歳以上1,000円、高校生以下無料

※( )内は20名以上の団体料金

※身体障がい者手帳・療育手帳・精神障がい者保健福祉手帳(ミライID可)を持参の方と付添1名は500円引き(秋田県立美術館で当日券購入の場合のみ)。秋田市立千秋美術館の観覧券(半券可)ご提示の方は団体料金。「なかいち回遊割引チケット」をご提示の方は100円引き。

【主 催】 近代西洋絵画の巨匠たち展実行委員会(秋田県、ABS秋田放送、公益財団法人平野政吉美術財団)

19世紀から20世紀にかけて、フランスを中心とする美術界では次々と新しい美術の潮流が生まれました。

19世紀後半、季節や時間によってうつろう光や色彩を描いたのが、印象派の画家たちでした。彼らの作品は、伝統にとらわれない新しい絵画表現として美術界に大きな影響を与えます。印象派に影響を受けながらも独自のスタイルを確立していったポスト印象派、鮮やかな色彩と激しい筆致で感情を表現したフォーヴィスムなど、さまざまな芸術運動が現れました。1920年代になると、美術潮流の中心地となったパリに世界中から個性豊かな芸術家たちが集まります。特定の様式や芸術運動を共有せず、個々の表現を追い求めた彼らはエコール・ド・パリと呼ばれました。

本展覧会では、茨城県笠間市にある笠間日動美術館の西洋絵画コレクションから、クロード・モネ、ピエール＝オーギュスト・ルノワール、オディロン・ルドン、アンリ・マ蒂斯、パブロ・ピカソ、藤田嗣治など、この時代を代表する画家たちの作品を展覧。印象派からエコール・ド・パリまでの近代西洋絵画の魅力を紹介いたします。



ピエール＝オーギュスト・ルノワール  
《泉のそばの少女》1887年 笠間日動美術館蔵

あたたかな色彩と光で女性や子どもを描いたルノワールは、モネと並び印象派を代表する画家です。1880年代、ルノワールは古典主義の作品に影響を受け、量感のある表現、寒色を基調とした作品を多く描きました。本作はこの時期の作品で、少女の頬や肩、腕はふくよかに描かれ、緑や青を中心とした背景が少女の鮮やかな赤いスカートを際立たせています。



クロード・モネ  
《ヴェットイユ、水びたしの草原》  
1881年 笠間日動美術館蔵

自然の光のうつろいに着目し、その美しさを描き出すことを探求し続けた画家・モネ。1878年の夏、モネはパリ北西にある農村ヴェットイユに移り住みました。モネはその自然豊かな風景を斑点状の筆致で描き、「大気の中の光のきらめき」をカンヴァスに表現しています。



アンリ・マ蒂斯『ジャズ』より  
《馬・曲馬師・道化》1947年 笠間日動美術館蔵

鮮やかな色彩と大胆な筆のタッチを特徴とするフォーヴィスムの中心人物であるマ蒂斯。晩年、健康状態の悪化により長時間の制作ができなくなったマ蒂斯は、1943年頃から切り紙絵に取り組みます。色紙を切り抜き、画面に自由に配置していくという制作方法はジャズの即興性に通じるものがあり、この連作は『ジャズ』と名付けられました。踊るような色彩や躍動感から、マティスの制作の喜びが伝わってくるかのようです。

## 関連イベント

### 講演会「近代西洋絵画の魅力ー思い出の作品たちー」 学芸員によるギャラリートーク

日時 ● 4月11日(土)午後2時～3時

講師 ● 長谷川徳七氏

(笠間日動美術館館長、株式会社日動画廊代表取締役社長)

長谷川智恵子氏

(笠間日動美術館副館長、株式会社日動画廊副社長)

会場 ● 1Fレクチャールーム 定員 ● 30名

※観覧料または年間パスポートをご持参ください。

※お電話での事前申し込みが必要です。

日時 ● 4月18日(土)、5月17日(日)

各日ともに午後2時～2時30分

会場 ● 3Fギャラリー

※観覧料または年間パスポートをご持参ください。  
※申し込みは不要です。

## 企画展 藤田嗣治 マドレーヌへの想い

【会 期】 2026年6月20日(土)  
- 7月30日(日) 会期中無休

【会 場】 秋田県立美術館 3Fギャラリー

【観 覧 料】 一般310円(250円)、シニア280円(250円)、

学生210円(170円)、高校生以下無料

※( )内は20名以上の団体料金 シニアは70歳以上

【主 催】 秋田県立美術館

(指定管理者 公益財団法人平野政吉美術財団)

藤田嗣治の中南米の旅に寄り添った妻マドレーヌ・ルク。日本に帰国後、藤田は東京の戸塚に、マドレーヌ好みのメキシコ風アトリエを構え、マドレーヌと暮らしました。このアトリエで、1936年6月、マドレーヌが急死します。藤田は、若くして亡くなったマドレーヌへの鎮魂の想いを抱き、その面影を二人が出会ったパリの風景の中に描き出していきます。本展では、マドレーヌを描いた作品から、藤田の想いを読み解きます。



「藤田嗣治とマドレーヌ 秩父丸船上にて」  
1933年 公益財団法人平野政吉美術財団蔵

# tupera tuperaの キニナル アニマル

絵本原画展  
Curious Animals of tupera tupera:  
Picture Book Illustrations

【会期】  
2026年4月25日(土)  
- 7月5日(日) 会期中無休

【観覧料】一般1,300円(1,100円)、  
大学生800円(640円)、高校生以下無料  
※( )内は20名以上の団体、前売、障がい者割引、  
秋田県立美術館および「春の院展」との相互  
割引料金。くるりん周遊バスで観覧の場合、一  
般990円、大学生590円

【主催】tupera tupera展実行委員会  
(秋田市立千秋美術館、AAB秋田朝日放送)

亀山達矢と中川敦子による2人組のクリエイティブユニット・tupera tupera(ツペラ ツペラ)。2002年に活動を開始後、絵本やイラストレーションをはじめ、アニメーション、ワークショップなど、さまざまな分野で幅広く活躍してきました。絵本だけでも出版数は50冊を超え、日本国内だけでなく、海外でも多くの人々に愛読されています。

本展では、「動物」を切り口にtupera tuperaのユーモアあふれる絵本の世界を紹介します。赤いパンツを脱がすことから始まる『しろくまのパンツ』、パンダの秘密が明かされる『パンダ銭湯』をはじめ、作品の中に登場する個性的な動物たちは、世代を超え、読者を楽しませてくれます。一風変わったキャラクターたちの面白さや思わず笑みがこぼれてしまう仕掛けなど、tupera tuperaの豊かなアイデアからつむがれる表現の魅力に迫ります。



『しろくまのパンツ』(2012年、ブロンズ新社)

## tupera tupera ツペラツペラ

亀山達矢と中川敦子によるユニット。2002年より活動開始。絵本やイラストレーションをはじめ、テレビや舞台のアートディレクションなど、さまざまな分野で幅広く活動している。著書に『しろくまのパンツ』(ブロンズ新社)、『パンダ銭湯』(絵本館)、『かおノート』(コクヨ)、『やさいさん』(Gakken)、『いろいろバス』(大日本図書)など多数。海外でも多くの国で翻訳出版されている。NHK Eテレの工作番組「ノージーのひらめき工房」のアートディレクションも担当。『わくせいキャベジ動物園鑑』(アリス館)で第23回日本絵本大賞。2019年に第1回やなせたかし文化大賞を受賞。



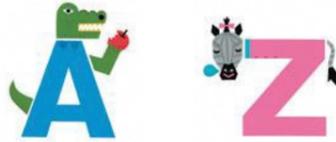
Photo by Takayuki Abe

## 絵本のかたちとどうぶつ



『きゅうきゅうプー』(2021年、岩崎書店)  
キューブ型で小さな手乗りのプーさん。

## 文字とどうぶつ



『ABCパーティ』(2019年、白泉社)  
Zで始まるどうぶつってZebraのほかに何がある？

## どうぶつの主人公たち



『パンダ銭湯』(2013年、絵本館)  
銭湯でパンダの秘密が明らかか？!

## いろいろなどうぶつ



『いろいろバス』(2013年、大日本図書)  
カラフルなバスに乗り降りする、あんなモノやこんなモノ。

## ふしぎなどうぶつ



『わくせいキャベジ動物園鑑』(2016年、アリス館)「ハクサイ」  
地球から831光年離れた惑星に生息する動物たち。



『超チョウ図鑑』(2025年、アリス館)「アンティークチョウ」  
こんな超すごい蝶々がいたなんて!

すべて©tupera tupera

5つのポイントでみる絵本のなかのどうぶつたち

## 秋田の「おいしい」をtupera tuperaと味わおう!

### 親子ワークショップ

しったげうめえ! おもしろ“アニマル”カレーを作ろう  
tupera tuperaと一緒にキーワードから連想したゆかいな動物のカレープレートを作ります。  
日時 ● 6月21日(日)午前11時~午後1時  
講師 ● 鈴石真紀子(フードスタイリスト)  
会場 ● 文化創造館コミュニティスペース(秋田市千秋明徳町3-16)  
対象 ● 4歳以上の親子8組16名 参加費 1,000円/人  
申込 ● 5月19日(火)午前9時30分より電話にて受付  
千秋美術館 電話018-836-7860

### 会期中限定コラボ

ベーカリー工房 GRISSINI  
あの大人気キャラクターのパンをエリアなかいち商業棟1階店舗で販売します。



マザー食堂savu.  
展覧会オリジナルの焼き菓子などを千秋美術館ミュージアムショップで販売します。



## 令和8年度 秋田県立美術館・秋田市立千秋美術館展覧会ラインナップ

今号で紹介しているもののほか、令和8年度に2つの美術館で開催する魅力あふれる展覧会を紹介します。

特別展 **超写実 ホキ美術館名品展**  
8月4日(金)~9月27日(日)

森本草介、野田弘志、五味文彦ら写実絵画を代表する作家をはじめ、塩谷亮、三重野慶など注目を集める作家たちの渾身の作品を、ホキ美術館コレクションより厳選して紹介します。

島村信之《日差し》2009年 ホキ美術館蔵

特別展 **ごんぎつね40周年記念**  
~黒井健 絵本原画の世界~  
10月3日(土)~11月29日(日)

日本を代表する絵本画家・絵本作家の一人である黒井健。『ごんぎつね』と出会って得たものがいかに黒井の画家人生に影響を与えたのか、その制作の裏側に迫ります。

『ごんぎつね』より ©Ken Kuroi

企画展 **平野政吉コレクションの人物像**  
12月5日(土)~2027年1月17日(日)

平野政吉コレクションの中から、幅広いジャンルで描かれた人物画を展示し、豊かな人物表現を紹介します。

村山機多《婦人像(素描)》1915年 公益財団法人平野政吉美術財団蔵

企画展 **藤田嗣治と《秋田の行事》**  
1月23日(土)~4月11日(日)

壁画《秋田の行事》は2027年に制作されてから90年を迎えます。本展では、壁画のためのデッサンや写真資料、模型資料などから《秋田の行事》について展覧します。

「竿燈を取材する藤田嗣治」1936年 公益財団法人平野政吉美術財団蔵

企画展 **おかえりなさい!**  
**佐竹本三十六歌仙絵とゆかりの名品**  
8月1日(土)~9月23日(日)

秋田藩主佐竹家に伝来した「佐竹本三十六歌仙絵」は、現存する歌仙絵の最高傑作として名高い。絵巻切断から100余年、過去最多15幅が秋田へと里帰ります。

重要文化財  
《佐竹本三十六歌仙絵 小大君》  
鎌倉時代・13世紀 大和文庫蔵

企画展 **スウェーデンのうつわ**  
**グスタフスベリのある暮らし**  
10月17日(土)~12月20日(日)

スウェーデンを代表する陶磁器メーカー・グスタフスベリの歴史と魅力を約300点により紹介します。

スティグ・リンドベリ《「ベシヨ」シリーズ》1960-74年 スウェーデン国立美術館  
©Nationalmuseum/Gustavsbergs Porslin AB  
Photo: Viktor Fordell / Nationalmuseum

コレクション展 **街の姿に何をみる?**  
2027年1月8日(金)~2月7日(日)

街の風景には、人々の営みや文化、時代感が表れます。画家たちが観察・記録し、時に自らの心情を重ねながら描いてきた街の姿を所蔵品からみていきます。

高橋萬年《浅草風景図》1928年

コレクション展 **美術のなかの花と鳥**  
2月13日(土)~3月14日(日)

私たちの身近な存在であり、美術の主要なモチーフとして、さまざまに描かれてきた花と鳥。所蔵品を中心にその多様な表現の世界を紹介します。

松林山人《罌粟花図》江戸時代(18世紀)

県立美術館と千秋美術館では、それぞれパスポートを発行しています。一年を通じて、各館で開催される展覧会を楽しむなら、ぜひパスポートをご利用ください。

**県立美術館年間パスポート**  
県立美術館(県民ギャラリーを除く)で開催される展覧会を発行日から1年間、何回でも観覧可能。  
料金 ● 一般 2,500円 大学生 1,700円  
販売場所 ● 県立美術館  
※県民ギャラリーで開催される展覧会等の観覧は主催者により異なります。

**千秋美術館年間パスポート**  
千秋美術館で開催されるすべての展覧会を発行日から1年間、何回でも観覧可能。  
料金 ● 一般 3,000円 大学生 1,500円  
販売場所 ● 千秋美術館

学芸員リレーコラム  
**仲小路でアートを探そう(第24回)**

昨年の秋から冬にかけて、仲小路周辺も含め秋田市内では、熊対策のために自動ドアを手動に切り替え、取手として吸盤ハンドルを取り付ける光景をよく見かけました。重さのある自動ドアを動かすのに一役買ったこのハンドル、実は美術館にとっては普段から見慣れている道具の一つ。壁付きガラスケースの開閉や、アクリルフードが付いた展示台を使うときに活躍します。基本的に展示作業以外ではお目にかからないものだったので、日常の中に溶け込んだ吸盤ハンドルを見かけると、旧友の思いがけない一面を見てしまったようで、なんとなく不思議な気分になったものでした。今年はどうか街の中には出現せず、展示室で静かに使われる道具であるようにと、今から願うばかりです。(千秋美術館・菅沼)

ガラスケースに取り付けて使用中